

1 アンケート実施概要

(1) 転出者アンケート

アンケート対象者：平成 20 年 4 月 1 日から平成 21 年 3 月 31 日までの間に転出届のあった者（転出届提出時に手渡しでアンケート用紙を配布し、返信用封筒により回収）

転出届出件数：..... 639 件

アンケート回収数：..... 154 件

アンケート回収率：..... 24. 10%

調査項目：11 項目の問に対し、選択式と記述式で回答していただいた。

(2) 転入者アンケート

アンケート対象者：平成 19 年 7 月 1 日から平成 20 年 6 月 30 日までに転入届のあった世帯主（平成 20 年 3 月及び 9 月に対象者へ郵送でアンケート用紙を送付し、返信用封筒により回収）

転入届出件数：..... 931 件

アンケート回収数：..... 283 件

アンケート回収率：..... 30. 39%

調査項目：11 項目の問に対し、選択式と記述式で回答していただいた。

2 調査結果の概要

(1) 転出者アンケート

転出者の世帯構成は、単身者が 63.6%と過半数を占め、次いで 2 世代世帯が 21.43%で、全体の 85.03%を占めています。年齢構成は、20 歳代が 37.0%、30 歳代が 36.4%で、全体の 73.4%となっています。また、職業は、会社員（パート含む）が 61.7%で過半数となっています。

転出の理由は、「仕事関係（就職・転職・転勤）」が 43.8%、「結婚・親の介護など家庭の事情」が 29.0%で、全体の 67.2%となっています。「仕事関係」と答えた方で最も大きい理由は、「転勤を命ぜられた」が 21.4%で、「須坂に働きたい会社がない、須坂の会社よりも条件の良い会社へ行く、働きたいが求人がない」の合計で 20.1%となっています。

転出先は、長野市が 37.0%で、その他の県内が 26.0%であり県内への転出は過半数を超えている。県外への転出が 32.4%となっています。

将来須坂市に戻る可能性については、「戻る可能性はない」が 35.7%、「いずれ戻るつもり、戻る可能性がある」が 34.4%となっている。「いずれ戻るつもり、戻る可能性がある」と答えた方で最も多い理由は、「親などとの同居をきっかけに」が 9.8%で、次いで「就職や転職をきっかけに」が 9.8%、「定年退職などをきっかけに」が 5.5%となっています。

このことから転出者は、若者が結婚や親の介護など家庭事情や仕事の都合で長野市を中心に県内への転出をし、親などとの同居をきっかけに須坂に戻ってくる可能性があると考えていることが伺えます。

(2) 転入者アンケート

転入者の世帯構成は、単身者が 50.2%と過半数を占め、次いで二世帯世帯が 24.4%、で全体の 74.6%を占めています。年齢構成は、20 歳代が 35.3%、30 歳代が 34.6%で、全体の 69.9%となっています。また、職業は、会社員（パート含む）が 53.7%で過半数を占め、次いで無職が 15.9%となっています。

転入の理由は、「結婚・親の介護など家庭の事情」が 39.9%、「仕事関係（就職・転職・転勤）」が 27.2%で全体の 67.1%となっています。「仕事関係」と答えた方で最も多い理由は、「転勤を命ぜられた」が 47.1%で過半数となっています。

転入元は、長野市が 31.8%で、その他の県内が 30.0%、三大都市圏が 17.7%となっています。

将来転出する可能性については、「いずれ転出するつもり、転出する可能性がある」が 54.6%で、「転出する可能性はない」が 26.5%となっています。「いずれ転出するつもり、転出戻り可能性がある」と答えた方で最も多い理由は、「就職や転職をきっかけに」が 27.0%で「住宅の取得をきっかけに」が 18.7%、「親などとの同居をきっかけに」が 12.6%となっています。

このことから転入者は、若者が仕事の都合や結婚や親の介護など家庭の事情で長野市を中心に県内から転入し、就職や転職、住宅の取得、親などとの同居をきっかけに転出する可能性があると考えてることが伺えます。

(3) 転出者アンケート自由記述からみる施策等に対する意見

転出者アンケート「問 11 自由記述」で、行政サービスの充実や施策として取り組むべき事業を検討する際、参考となると思われる意見の主なものを抜粋しました。（全体の自由記述回答は 8 ページ参照）

回答者属性：（世帯構成、年代、職業、転出先）

① 子育て 他

保育園について、通常保育の時間が長野市と比べて短すぎると思います。常勤で勤務して 16 時半に終わる会社はないと思うので、配慮が必要だと思います。（二世帯世帯（親と子）,20～29 歳,会社員（パート含む）,長野市）

須坂で第 1 子を出産し育児をスタートさせましたが、子育て支援センターがとても良い所で助けてもらうことがたくさんありました。先生方もとてもすばらしい方々でした。須坂市は子育て全般に関してとても行き届いていて育児しやすい環境であると思います。須坂病院で分べん開始後に通院もしましたが、新しい先生方がとてもたのしく良かったと思います。（二世帯世帯（親と子）,30～39 歳,公務員（教員含む）,その他の県内）

出産、子育てと 3 人の子供を須坂で産みました。子育てをした時代に住んでいた場所と

というのはこんなにも思い入れが強いものか…と思います。保育園の先生方（井上保育園）には本当によくして頂きました。未就児のうちには支援センターに大変お世話になりました。高甫保育園にあった頃は特に先生方に助けて頂きました。本当にありがとうございました。これからももっと今まで以上に子育て世代に優しい市であるよう願います。そして、保育園の先生方の待遇をもっとよくして下さい。正規の職員の先生をもっともっと多くして下さい。お願いします！（二世帯世帯（親と子）,30～39歳,会社員（パート含む）,長野市）

子育てをするにはとても良い環境だと思う。特に保育園では自然いっぱいの中で思いきり活動でき、子供が生き生きとしていた。生きる力をつけられると思う。休日にはよく臥竜公園に遊びに行った。子連れで行ける場所がもっと増えるとありがたい。（二世帯世帯（親と子）,30～39歳,会社員（パート含む）,4 県外（三大都市圏）

② ゴミ収集 他

粗大ゴミの収集方法を考えてほしい。年に1回しかない上に、自身でセンターへ持ちこむことのできない人にとって、とても不親切な行政のように感じました。特に年金生活者にとっては、民間業者に頼るしかない現状では、負担が大きすぎるのではないかと思います。すべての人が親戚やご近所に頼れるわけではないのですから。昨年5月に他県から転入して、一年ちょっとの須坂暮らしでした。市役所の職員の方々の対応はとても心地よかったです。自然もいっぱい楽しい一年でした。（夫婦,50～59歳,会社員（パート含む）,県外（三大都市圏）

③ 交通 他

悪かった所、自家用車がないと生活しにくい所、駅前に行くバスだけでなく、スーパーに行く便があれば利用したかったです。良かった所、花火がすごくきれいでした。（その他,30～39歳,会社員（パート含む）,県外（三大都市圏）

交通の便が悪い。お店が一定の場所にあるだけで村山より郊外の方になくて不便です。（単身,20～29歳,会社員（パート含む）,長野市）

買い物に行く店や外食する場所が少なく、結局長野市や中野市に出てしまうことが多かったです。観光に来るには良い場所かもしれませんが、住むには少し不便な町だと思います。（特に自家用車がない人には大変かと思います）長野電鉄の終電ももう少し遅くまでであると良いと思っていました。（単身,30～39歳,会社員（パート含む）,長野市）

④ 自治会 他

良…6年前に須坂に引っこしてきたのですが、近所の方が私達若夫婦に良くして下さいました。毎日常学校の帰り時間にボランティアのみなさん（黄色のジャンパー）がいてくれて安心でした。悪…公園の遊具を回収されたのはよいのですが、なにかかわり

のものを設置して下さればと思いました。(二世帯世帯(親と子),30~39歳,会社員(パート含む),長野市)

自治会という件で組長や他の役員などまわってくることを知らなかった。知りあいもおらず一人で引っこしてきたので相談できる人もいなかった。(単身,30~39歳,団体職員,その他の県内)

ゴミ袋の料金が他と比べて高すぎる。個人の健康状態や生活状況に関係なく町の役員を押しつけられる。受ける人間がだんだんいなくなり、順番とはわかっているけど仕事や生活している人数が少ない一人暮らしでも強引におしつけられ、何かもう少し構成しなおしを考えてほしい。(単身,20~29歳,公務員(教員含む),長野市)

⑤ 道路整備 他

税金が高い。働ける企業が少ない。道路整備が良くない。駅周辺が寂しく何も無い(デパート等)。交通機関が不便。(単身,30~39歳,会社員(パート含む),長野市)

⑥ まちの活性化 他

須坂の良いところは春夏秋冬それぞれに顔がある点だと思います。悪いところはその顔が全国に周知されていない点です。桜といたら臥竜公園!花火といたら百々川!そんな気持ちにするために全国へもっとPRしていけば今よりはもっと良い方向に行くのかと思います。(単身,20~29歳,会社員(パート含む),県外(三大都市圏))

良かったところ…治安が良い。米子大瀑布。高速道路のインターが近くにある。スキー場へのアクセスが良い。小布施など観光地が近い。悪かったところ…活気がない。マンション建設など、中心部に若い人をもっと呼びこめたら…。商店街をもっと充実!!(夫婦,20~29歳,公務員(教員含む),その他の県内)

ハッチとクララで動物園が多少有名になったものの今までは小布施への通り道というイメージが強かった。これを機に大型観光バスも通れるような交通整備、多彩なイベントによる観光客誘致等、街の活性化に注力していただきたい。(単身,30~39歳,会社員(パート含む),長野市)

(4) アンケート結果考察

転出者アンケートの転出する年齢構成は、20歳代が37.0%、30歳代が36.4%で、全体の73.4%を占めていることと、設問「須坂市から転出される理由は何ですか(8ページ参照)」の回答及び、転入者アンケートの転入してきた年齢層では20歳代が35.3%、30歳代が34.6%で、全体の69.9%を占めていることと、設問「須坂市に転入された理由は何ですか(33ページ参照)」の回答結果から以下の点が読み取れます。

20代から30代の世代が、「仕事関係（就職・転職・転勤）（転出者アンケート-43.8%、転入者アンケート-39.9%）」や「結婚・親の介護など家庭の事情（転出者アンケート-29.0%、転入者アンケート-27.2%）」を理由に、長野市を中心に県内での移動をしている（転出者アンケート-37.0%、転入者アンケート-31.8%）ことが伺えます。また、いずれ転入・転出すると考えている理由も、就職や転職、親などとの同居をきっかけにあげています。

自由意見及びこれらアンケート結果から、須坂市に若者が定住しやすい環境づくりを図るため、雇用の拡大や住環境の整備、介護支援などの充実を図ることが必要であると考えられます。